

全国初？消防士が行う行政改革

「K2プロジェクト」～組織改革への挑戦～（山形県山形市）

取組概要

山形市消防本部は、更なる組織の活性化を目指し、独自の新たな改善・改革プロジェクトにチャレンジしている。プロジェクト名は、「カイゼン・カイカク」の頭文字となる「K」を2つ組み合わせて「K2プロジェクト」と名付けており、そこには、世界でもトップクラスの高さを誇っている山である「K2」のように、組織全体で高い意識を持ちながら、改善・改革を目指していくという想いも込められている。

通常、災害現場においては、上司からの指揮命令によって、「安全・確実・迅速」の3原則を重視して活動を行っているが、業務を改善・改革するには、若手職員の斬新かつ柔軟な発想によるボトムアップも有効であると考え、組織に必要なものを積極的に吸い上げ、改善・改革という風を下から巻き起こすことで、風通しの良い組織風土を作り、組織全体の活性化を実現させていくため、「K2プロジェクト」に取り組んでいる。

取組の効果

2年間の取組実績として、プロジェクト参加者31名により、救急業務に対する改善や挨拶運動の取組など様々な視点で提案された10案件の改善計画が提出された。プロジェクトの狙いである業務の改善・改革はもとより、上司と部下の垣根を超え職員間のコミュニケーションが格段に活性化し組織力が着実に向上している。

【2022提案計画】

- ①消防隊の能力向上及び火災対応力の向上について
- ②公式SNSアカウントの開設
- ③救急救命士継続教育に係る病院実習の見直し
- ④救急隊の教育について
- ⑤動画を活用した人材育成
- ⑥消防安全サポーター制度による火災予防対策

【2023提案計画】

- ①「きもちよくあいさつしませんか」
- ②K2のK2
- ③災害発生時の報道機関対応の効率化
- ④地水利改革

創意・工夫した点

現場活動において指揮命令体制が確立されている組織の中で、若手職員等が積極的に発信できるよう、消防長をはじめ管理職員が率先してプロジェクトを推進するシステムを構築した。

また、提案者が孤立することのないよう、計画の修正や相談を行える組織的なサポート体制を整備した。

他団体へのアドバイス

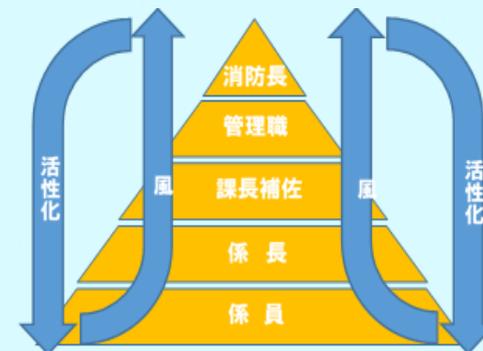
前例踏襲やトップダウンといった考え方から脱却し、下から巻き上がる風を上手く循環させるシステムを構築することで、職員の更なる意識改革を図り、ひいては、「個の改革」が「組織全体の改革」に波及し、さらに「組織全体の改革」が「個の改革」にフィードバックされる、そんな好循環を持続できればと考えている。

人口 241,802人(R6.1.1現在)

担当 消防本部 総務課



改善会議の様子



目指す体制図